

被災地への全国からの 応援職員を紹介します

平成29年7月

- ①氏名 ②派遣元団体 ③所属課(業務内容)
④派遣期間 ⑤自己紹介

飯 舘 村

①薩來 一男 (さつらい かずお)

②神奈川県安全防災部災害対策課

③建設課土木係 (帰還再生生活道路整備 他)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤派遣の動機ですが、発災当時、友人が岩手県に在住しており、被害の規模があまりにも甚大なことを目にし、翌年の4月に岩手県の任期付職員として漁港・海岸の復旧に従事しました。平成26年に現在の派遣元である神奈川県に在籍し、宮城県内の地盤沈下による下水道の復旧事業に携わってまいりましたが、残りの任期を福島県内にて微力ですがお手伝い出来ればと思っています。



葛 尾 村

- ①中村 等（なかむら ひとし）
- ②横浜市役所
- ③三春出張所
（仮設住宅の管理、借上げ住宅に係る事務等）
- ④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤今年、横浜市に再任用されるにあたり、少しでも被災地のお役にたちたいと思い派遣職員を希望しました。三春町に着いたのは4月2日でしたが、「こちらは、桜がこれから咲くんだなあ。」とイベントを待つ子供のような気分になりました。職場は、とても家族的な雰囲気です。未経験の業務も丁寧に教えていただいています。休日には、御先祖の出身と聞いている会津若松に行ってみたいと思っています。



川 俣 町

- ①栗原 良介（くりはら りょうすけ）
- ②東京都中央区
- ③総務課（災害記録誌の作成業務等）
- ④平成29年6月1日～平成29年7月31日

⑤中央区では平成29年度から2カ月交代で川俣町へ職員を派遣しています。なお、川俣町と中央区の間では、スポーツ少年団の交流が以前から盛んでした。

実際に川俣町に来るまでは、正直なところ不安もあったのですが、役場のみなさんに温かく迎えていただき、新しい環境にも慣れることができました。

残りわずかな派遣期間、悔いの残らないよう1日1日を大切にしたいと思います。



檜 葉 町

① 潟山 実 (がたやま みのる)

② 神奈川県

③ 建設課 都市計画係
(仮設住宅の管理、借上げ住宅に係る事務等)

④ 平成28年4月1日～平成30年3月31日

- ⑤・派遣動機 これまでの経験を生かし何か一つでもいいから被災地のお手伝いしたい。
- ・ 福島県の印象 風光明媚
 - ・ 派遣先職場の雰囲気 古さの中に新しきことあり
 - ・ 福島県でやってみたいこと 陸奥五国の内、福島県内二国存在を調べたい。
 - ・ 福島県で感じたこと気付いたこと まだ感ぜず、これからです。



① 金子 剛 (かねこ つよし)

② 新潟県柏崎市役所

③ 建設課

④ 平成28年4月1日～平成30年3月31日

⑤ 平成19年7月16日発生の新潟県中越沖地震の際は、多くの自治体から支援をしていただきました。

昨年度より檜葉町建設課で、ならばスマートインターチェンジ建設のための関係機関との調整、町道改良計画、道路施設の維持、橋梁補修工事など多様な業務の手伝いをしています。町も少しずつ街の明かりが灯り始めています。インフラ整備を通して、町の再生復興に役立ちたいと思っています。



双葉町

①増田 真司 (ますだ しんじ)

②福井県美浜町

③復興推進課・建設課兼務 (都市計画関係業務)

④平成29年1月10日～平成30年3月31日



⑤同じ原子力発電所所在自治体との縁もあって、双葉町に派遣職員という立場でお世話になっております。双葉町の事務所があるいわき市は、雪はほとんど積もらず、また、夏も比較的涼しい都市です。双葉町も同じような気候だとの話を聞くたびに、日本海側育ちの身としてはうらやましく感じてしまいます。業務時間外では福島のおいしいお酒の力も借りて職員の皆様との懇親を図りつつ、業務において復興のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

①市村 理恵 (いちむら りえ) (写真:左)

②茨城県高萩市

③健康福祉課

④平成29年4月1日～平成29年9月30日



⑤6か月という短い期間での派遣となり、自分に何ができるのだろう、何をすればいいのだろうと迷いながらも、職場のみなさんが温かく、楽しく仕事をさせてもらっています。

双葉町の町民の方は先の見えない避難生活を送っており、関わらせてもらっていく中でその大変さをひしひしと感じています。微力ながらも少しでもお役にたてればと思っています。

いわき市

- ①五十嵐 哲矢 (いがらし てつや)
- ②福島県
- ③都市復興推進課
(薄磯地区及び豊間地区震災復興土地区画整理事業)
- ④平成28年2月1日～平成30年1月31日



⑤いわき市に派遣され2年目を迎えました。区画整理事業は、都市計画の母と言われておりますが、道路等の公共施設や宅地の引渡し実績も進んできますと、尚更にその感を強く思います。連携する皆さんと共に事業の完了に向けて、まい進したいと考えています。

業務の中で、地区の歴史を知る機会があり、会津育ちの私は、興味を抱いていたところ、市文化振興課からの広報で「いわきの戊辰戦争」という社会講座の開催を知りました。7月から10月までの開催ですが、欠かさず出席したいと考えております。

- ①小酒 広也 (こさけ ひろや)
- ②東京都港区
- ③道路管理課 (震災復興・側溝堆積物撤去事業)
- ④平成29年4月1日～平成30年3月31日



⑤就職活動中に震災にあい、震災後に派遣元に入庁し、派遣先に行くまで被災地に行くことがありませんでした。それまでに報道された被災地の状況や復興支援に従事した先輩方の話を聞き、少しでも力になりたいという思いから派遣を希望させていただきました。

職場はとても温かく、良い環境で業務に取り組んでいます。地元の方々とコミュニケーションをとり、さらにもっと福島県のことを知りたいと思います。

①太田 信孝 (おおた のぶたか)

②東京都

③都市復興推進課

(震災復興土地区画整理事業・市有地販売)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日



⑤《自己紹介》生まれは佐賀、幼稚園から大学院まで東京、就職は前橋市、街づくり・危機管理をライフワーク。

《動機》前橋市役所職員生活34年目で東日本大震災、中核市同士のいわき市を公的に支援する一方、私的に市民ボランティア組織の事務局としていわき市沿岸地域を支援、退職時東京都が災害公営住宅建設技術者を募集、9年公営住宅建設に携わった経験とまちづくりのスキルを活かせればと応募。

《印象》日本酒がうまい、いい温泉が多い。

《職場の雰囲気》早期の復興をめざし一丸となっている活力ある職場。

《きづいたこと》福島の経験、教訓を水平展開すべき。

福島市

①芦澤 幸雄 (あしざわ ゆきお)

②神奈川県

③除染施設整備課 (除染土仮置場の設計・監督)

④平成28年7月2日～平成30年3月31日



⑤東日本大震災の報道を目にし、復興に少しでもお役に立ちたいと思い応募しました。

帰省するたび、福島の現状についてよく聞かれますが、福島県全体が未だ原発事故付近と同じように考えている方も、残念ながらいらっしゃいます。こちらに赴任し福島の自然の豊かさ、温泉のすばらしさ、福島の人の温かさを知りました。多くの方に福島の良さを知っていただくためには、風評被害をいかに払拭していくかが大きな課題だと思います。微力ですが、少しでもお役に立てればと考えています。

広野町

①高田 拓 (たかだ ひろし)

②復興庁福島復興局

③建設課 (道路法に係る許可関係業務等)

④平成27年7月1日～平成30年3月31日

⑤私は建設関係の仕事の経験はありませんが、役所の事務仕事の経験があるので、毎日、若かった頃を懐かしく思い出しながら楽しく仕事をさせていただいております。役場の中では、全国から様々な経歴を持つ、様々な年代の多くの人たちが、町の職員と共に町の復興、福島復興をめざし頑張っています。私にとって定年退職後の思ってもいなかった体験ですが、残りの任期を楽しく、悔いの残らぬように頑張っていきたいと思えます。



①増田 貴史 (ますだ たかし)

②岐阜市

③健康福祉課 (介護保険業務)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤私が在学中に東日本大震災が発生し、その後地元の市役所で働きながら自分も何か力になれたらと思い派遣を希望しました。

慣れない環境で不安でしたが、回りの方々によくしていただき充実した日々を過ごせています。復興の役に立って自分も成長できるように頑張りたいと思えます。



相馬市

①八木澤 英樹 (やぎさわ ひでき)

②栃木県日光市

③都市整備課

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤私は、震災当時、福島県内の大学に通っていて、震災のあった3月11日は福島県郡山市で地震の揺れを体験しました。当時の私は、何かをやりたい気持ちはあったものの、何もできませんでした。

その後、日光市に勤務し、相馬市へ派遣を行っていることを知り、第二の故郷ともいえる福島県に少しでも恩返しをしたい気持ちで参りました。

1年間という短い期間ですが、やれることを精一杯頑張っていきたいと思います。



①田中 浩介 (たなか こうすけ)

②栃木県足利市

③土木課 (復旧道路の建設)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤派遣先の福島県相馬市には、地元にはない海があります。こちらに来て一番嬉しかったことは、やはり海の幸がとても美味しいことです。また、松川浦を始めとする海辺の景観は、見ていて飽きることがありません。派遣期間中は、この相馬の海をいっぱい楽しみたいと思っています。私の派遣期間は1年間と短いですが、ここで体験した相馬の魅力を地元等でも周囲に伝えて、相馬市のファンとしてずっと応援していきたいと思っています。



①山本 建志 (やまもと けんじ)

②大阪府泉佐野市

③農林水産課

④平成29年4月1日～平成30年3月31日



⑤歴史ある相馬市に派遣されて3ヶ月が経ち、職場は約20名の所帯ではありますが、上司を始め皆さんに支えていただき、日々気持ちよく業務をさせていただいております。

相馬市は、風光明媚な場所が多く、気候も7月に入っても涼しく、冬は雪が少ないと伺っております。

震災から6年が経ちますが、原発事故の影響で農水産物の風評被害が根強く残っており、派遣元の泉佐野市と「特産品相互取扱協定」を締結していることもあり、風評被害の払拭にも全力で取り組んでいきます！

浪江町

①白岩 真彦 (しらいわ まさひこ)

②神奈川県横浜市

③住民課 (軽自動車税、国民健康保険税の賦課)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日



⑤東日本大震災により未曾有の災害が発生した岩手、宮城、福島を、震災後毎年訪れて、復興には長い道のりを要し、地元だけでは成し得ないと感じていました。とりわけ福島の復興は、避難指示解除により、ようやく本格化することになるとの思いで、横浜市の被災地派遣に応募しました。

大切なふるさとを取り戻したいという住民の皆さんの思いが、少しでも早く実現できるよう、与えられた業務を通じてお手伝いできればと考えております。

①小林 修（こばやし おさむ）

②岡山県笠岡市

③企画財政課（統計調査業務、広報業務）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤平成23年4月末に約1週間、浪江町（二本松市役所東和支所）に派遣されたことがあり、再度、浪江町の皆様の役に立ちたいと思っていました。福島に来て3か月ほどしか経っていませんが、今のところ笠岡に比べ気候は良いと感じています。不慣れな地での勤務ではありますが、職員の皆さんに温かく迎えていただき、日々支えていただいています。

町民の皆様のために尽力し、浪江の今を伝えることができるよう努めてまいります。



①坂上 稔（さかうえ みのる）

②静岡県湖西市

③総務課防災安全係（防災全般）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤この4月から福島に来てまず思ったのは、広い！ということです。全国3番目の面積を持ち、太平洋に面した浜通り、東北新幹線が走る中通り、そして自然豊かな会津と、同じ県内でも様々な顔を持っていることはとても魅力的だと感じます。

浪江町の復興のために精一杯業務を行っていくことが第一ですが、県内のいろいろなところを訪れて福島の魅力を感じてみたいと思っています。



南相馬市

- ①佐藤 甲三（さとう こうぞう）
- ②新潟県小千谷市
- ③建築住宅課（復興推進空き家・空き地バンク）
- ④平成29年4月1日～平成30年3月31日



⑤現役時代にはできなかった復興のお手伝いを、退職後、少しでもできればと思い、南相馬市にお世話になっています。

業務は、復興推進空き家・空き地バンクを担当しており、少しでも多くの方が南相馬市に移住・定住してくださればと思って業務に励んでいます。

休日は、主に観光地を巡っています。福島県の魅力を一つでも多く体感していきたいと思っています。

- ①服部 唯志（はっとり ただし）
- ②神奈川県
- ③農林整備課ため池除染担当係
- ④平成27年7月1日～平成30年3月31日



- ⑤・派遣の動機

妻の友人が被災者で、震災後いろいろと交流があったので自分も何か役立てる仕事ができたらと思っていた。

- ・福島県の印象

生活はやはり少し不便。コンビニの数は多いが映画等は福島市又は名取市まで行かなければならず、片道約1時間30分を要する。

①岩崎 明 (いわさき あきら)

②神奈川県相模原市

③商工労政課 (工業団地造成に関すること)

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤今年3月末に定年を迎えたことを契機に、今まで相模原市の職員として培った経験を、少しでも被災地のために役立てることが出来たらと思い、福島県にやって来ました。浜通りでは地震による直接被害だけでなく、津波、原発事故と他県と異なる多重の被害に見舞われ、職員や地元の方々が日々、復旧・復興に立ち向かっている姿を見て、共に一日も早い復旧・復興に携わっていきたいと思います。



①小檜山 豪 (こびやま ひでと)

②福島県

③商工労政課 (工業団地造成に関すること等)

④平成29年4月1日～平成31年3月31日

⑤派遣先の南相馬市は、震災からの復興をさらに進めるため、各職員が高い意識を持ち、様々な課題や新しい事業に挑戦しています。その前向きな姿勢が非常に印象的で、自分にとって良い刺激となっています。

私は工業団地の造成、企業の誘致・支援、ロボット産業の推進に関する業務に携わっていますが、これらの業務に全力で取り組むことで、南相馬市の復興につながればと考えています。



①竹ヶ原 弘美 (たけがはら ひろみ)

②東京都杉並区

③市民課 (窓口業務)

④平成29年4月1日～平成31年3月31日

⑤中長期派遣のことを知り、私にも何かできることがあればお手伝いしたいと思って希望しました。

地元では夫と成人した子供たちと暮らしていますので「一人暮らしをするいいチャンスかも。」という不純な動機もありました。

南相馬市は雪もあまり降らず、夏も東京より涼しいので過ごしやすいです。

現在の職場は若い人も多く、活気にあふれています。

県内であまり旅をしていないので、いろいろなところへ行ってみたいです。



①鈴木 晴夫 (すずき はるお)

②神奈川県

③復興計画部 環境回復推進課

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤派遣の動機は、私が勤めていたゼネコンの土木の施工管理の技術と街づくりの経験を復興支援に役立つことができればと思い、神奈川県の派遣職員に応募しました。

○福島県の印象

- ・県土が広く、市民の方が親切、自然が豊か、歴史と文化を大切にしている。相馬野馬追の迫力がすごい。

○派遣先職場の雰囲気

- ・明るく、笑顔が多い、挨拶が徹底して気持ちが良いです。
- ・報告連絡相談の声がはきはきしていて元気があります。

○福島県でやってみたいこと

- ・首都機能移転を福島県に誘致する提案。
- ・常磐新幹線の誘致提案、常磐高速道路の4車線化。

○福島県で感じたこと、気づいたこと

- ・脱原発の思想が実践されていること。太陽光発電、ゴミ焼却発電、温泉発電等未来につながるエネルギーの計画が進んでいると感じました。

